

効率化の為のチームワークとは

～よりスピーディーな開発に適應できるチーム体制を！！
最適で最高のチームワークを～

佐々木 祐也

日本ナレッジ 株式会社

Agenda

1. チームワークとは 1/2
2. チームワークとは 2/2
3. こんなテストチームは嫌だ
4. 意識共有について考える
5. 得られる結果
6. まとめ

チームワークとは 1/2

[チームワークとは何でしょうか？]

判っているようで改まって聞かれると困ってしまいませんか。

チームとはある目的を達成するために集まった2人以上の集まりです。

例えば・・・

チェスをするために集まった2人はチームではありません。

机を運ぶためという目的で呼ばれた2人は集まった瞬間からチームなのです。

[チームとグループの違い]

チーム → 目的の為に集められた団体

グループ → 共通の性質で集めた仲間

グループは足し算、チームは掛け算ということになります。



チームワークとは 2/2

[互いの強みを生かす]

それぞれの得意分野をできるだけ活かし役割を明確にしよう。(適材適所)

サッカーに例えると:

- ・芝整備士(環境構築、環境メンテナンス、テスト設計)
- ・監督(テスト管理者、テスト実行者に合わせた戦術や戦略、育成など)
- ・選手(テスト実行者)
- ・マネージャーやレポーター(バグ分析、バグレポート、進捗管理)
- ・審判(リーダなどが統一の感覚でバグ判定やダメージ付けをする)

[弱みを補い合う]

弱みを補いあえる空気を構築しよう。

- ・不明点を解決できるルールやフローを明確にしよう。
- ・相手に合わせた目線で接しよう。
- ・相談役的なポジションを設けるのも一つの解決策。



こんなテストチームは嫌だ

[こんなテストチームは嫌だ]

- ・ 独り言が多くなる
- ・ 帰れない
- ・ 会社に来ない
- ・ 上司が切れる



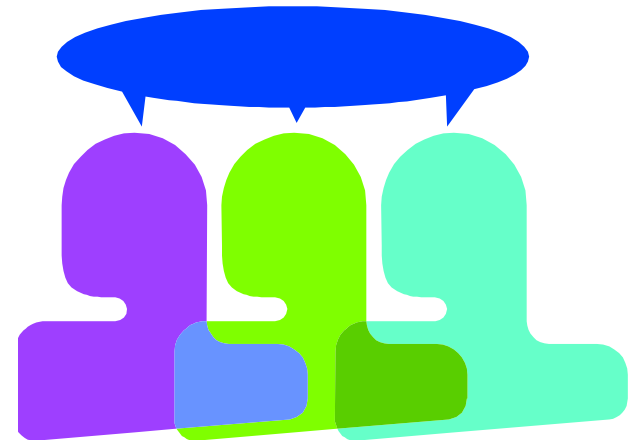
[改善するためには]

- ・ お菓子を差し入れする
- ・ 飲みに誘う
- ・ サークル活動(サッカー、野球、卓球、カラオケetc...)
- ・ 挨拶は大きな声でする
- ・ 話すとき相手の方向を向いて話す

意識共有について考える

意識共有をする

- ・チームで仕事を進めるということはメンバー同士の意識共有をしなければ成功はおぼつかない。
- ・意識を定義することによりメンバー間での意識ミスマッチリスクが下がる。
- ・意識共有を図るには理念が必要。
- ・意識を定義することにより人材流動にも対応できる。



得られる結果

みなさん、チームワークについて再認識していただけたでしょうか？
この資料がもう一度「チームワーク」を考え直したり、再確認する
機会になれば幸いです。

チームワーク＋意識共有が噛み合わさることがプロジェクト成功への
一つの要素です。

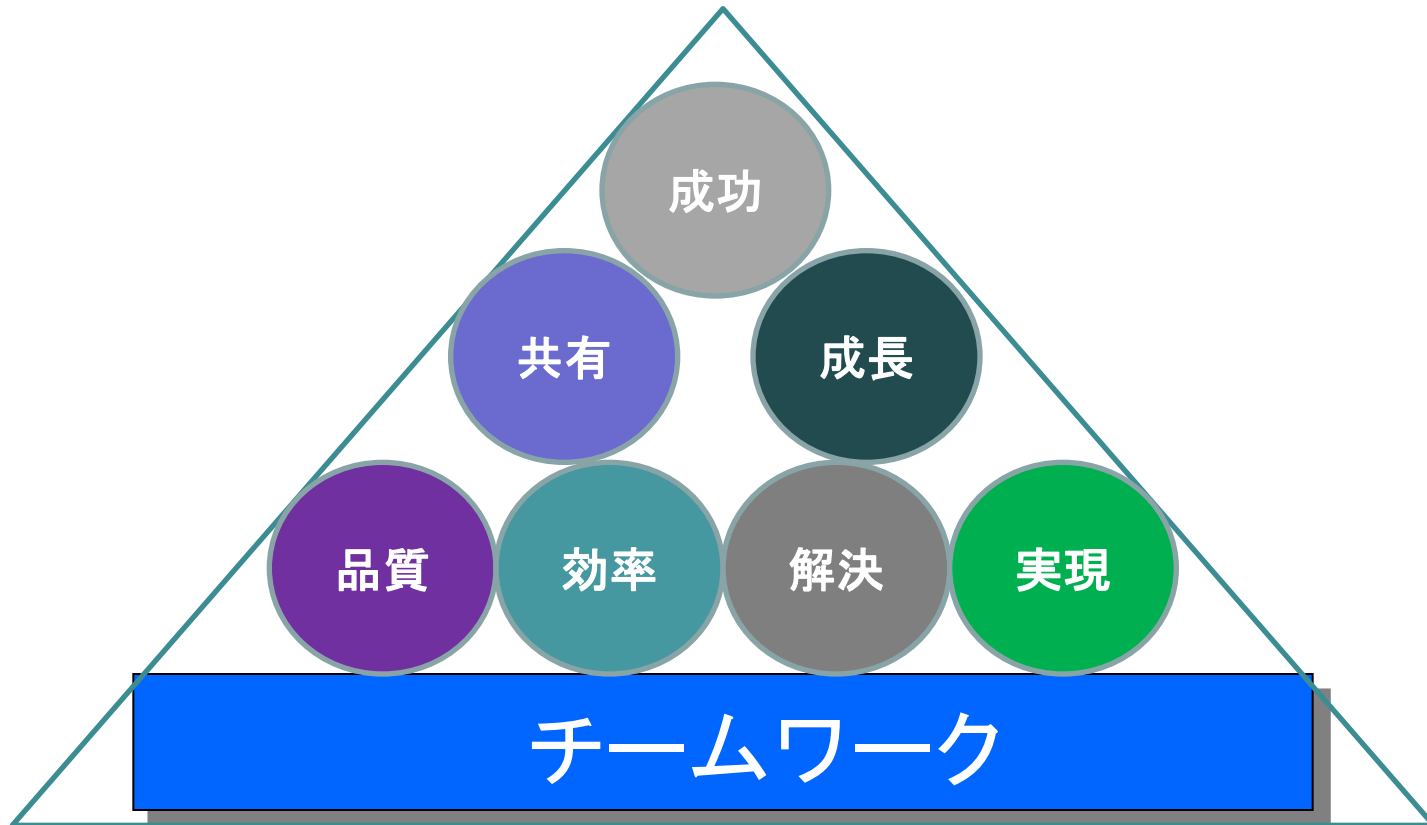
得られる結果：

- ・ストレス低減できる。
- ・テスト技法やテストツールがより活かせる。
- ・強みを活かし、弱みを補える。
- ・早期アラートにより問題解決につながる。
- ・テスト実行の効率化につながり品質も高められる。
- ・品質が高まれば手戻り作業が減りコストも抑えられます。
- ・品質を確保しスピードを上げる(納期を短縮する)ことが可能だと考えられます。



まとめ

組織という「固体」が目標を達成する為チームワークが必要不可欠と考えます。
組織活動である以上、すべてはチームワークの上に成り立っています。



ご清聴ありがとうございました。